

京都大学教育研究振興財団助成事業
成果報告書

2025年 3月 14日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会長 藤 洋作 様

所属部局：人と社会の未来研究院

職 名：教授

氏 名：熊谷誠慈

助成の種類	令和6年度・国際会議開催助成		
国際会議名	第2回国際ブータン学会研究大会		
開催期間	2025年 2月 3日 ～ 2025年 2月 7日		
開催場所	京都大学時計台記念館百周年記念ホール・国際交流ホール		
参加者	総数 94名	内訳 国内59名、海外35名	
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版1枚程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有()		
会計報告	事業に要した経費総額	6,895,317 円	
	うち当財団からの助成額	1,000,000 円	
	その他の資金の出所	(機関や資金の名称)上廣倫理財団、京都大学 人と社会の未来研究院、科学研究費、京都市MICE	
	経費の内訳と助成金の使途について		
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)
	招待講演者の招聘旅費	3,741,270	682,720
	撮影録画・動画編集費	163,350	163,350
	コーヒーブレイク代	84,100	84,100
	wifiルーター代	28,770	28,770
	配布物(文具)	41,060	41,060
	会場費	1,068,500	
レセプション・昼食・夕食・会議費	891,542		
HP構築・維持費	545,600		
スタッフ謝金・旅費	326,609		
雑費	4,516		
合 計	6,895,317	1,000,000	
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 国際会議に特化した助成金は、外部にも数が少ないことから、御財団に助成して頂き大変助かりました。		

成果の概要／熊谷誠慈

国際ブータン学会（ISBS: International Society for Bhutan Studies）は、2015年にブータン王国で設立された国際学会組織であり、ブータンに関する人文科学、社会科学、自然科学を含むすべての研究領域を横断し、世界最先端の研究成果を踏まえて国際的・学際的交流を推進することを主目的にしている。2025年2月3日～7日に、京都大学において第2回研究大会および国際シンポジウムを開催した。

研究大会期間中は、下記の会議日程と内容の通り、京都大学時計台記念館の国際交流ホール3つを使用して、口頭発表を実施するとともに、ウェルビーイングをテーマとする特別公開シンポジウムを開催し、国内外から計94名が参加した。

会議の日程と内容

令和7年2月3日（月）

- ・参加登録
- ・レセプション

令和7年2月4日（火）（大会1日目）

- ・参加登録
- ・オープニングセッション
イントロダクション：熊谷誠慈（京都大学人と社会の未来研究院・教授）
会長挨拶：Sabina Alkire（オックスフォード大学・貧困開発イニシアティブ所長）
日本ブータン学会の紹介：月原 敏博（日本ブータン学会会長・福井大学教授）
閉会挨拶：広井良典（京都大学人と社会の未来研究院・副研究院長）
- ・基調講演1 Karma Ura（王立ブータンGNH研究所所長）
- ・基調講演2 Sonam Kinga（前・ブータン王国上院議長）
- ・口頭発表セッション×1
- ・開会ディナー

令和7年2月5日（水）（大会2日目）

- ・口頭発表セッション×3

令和7年2月6日（木）（大会3日目）

- ・発表セッション×1
- ・基調講演3 Phuntsho Rapten（ブータン王国上院議員）
- ・基調講演4 Choten Dorji（ブータン王国中央僧院・事務次官）
- ・基調講演5 Lungtaen Gyatso（王立ブータン大学言語文化学カレッジ学長）

- ・ 閉会ディナー

令和 2 月 7 日（金） 一般公開シンポジウム

「ウェルビーイングの未来（The Future of Well-being）」

- ・ 開会挨拶：内田由紀子（京都大学人と社会の未来研究院長・教授）
- ・ 講演

「Research and Development of Kokoro Technology towards Well-going and Well-being」 熊谷誠慈（京都大学人と社会の未来研究院・教授）

「Measuring Well-being and Poverty to Guide Policy Action」 Sabina Alkire（オックスフォード大学貧困開発イニシアティブ・所長）

「Well-being in the History and Culture of Bhutan」 Karma Ura（王立ブータン GNH 研究所所長）



第 2 回国際ブータン学会の
オープニングセッション



Sabina Alkire 会長の
開会挨拶



Karma Ura 氏の基調講演